

施設名

早尾地区排水施設

指定管理者

早尾地区排水施設管理組合

指定期間

平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで

質疑

児童館・子育て支援センターについては、同じ団体でも施設によって評価の項目の配点が違うのは。

答弁

申請書の内容も一部異なっている。プレゼンテーションの内容、ヒアリング、選定委員からの質問の内容も異なり答えも異なる。

質疑

プレゼンテーションのやり方によって、点数が大きく変わる。子どもへの影響を考えれば、大きな問題がなければ、引き続きやってもらうところが、必要な部署ではないのか。選定の仕方を改善する考え方は。

答弁

継続すべきではないかとの話だが、そういう面もあるが、公募することで、今まで

の児童館活動を検証し、一層の活性化を図ることにもつながる。今後部の中でよく相談していきたい。



■一般会計補正予算

補正額 14億9千629万1千円
総額 234億3千425万2千円

各会計における補助金等の確定や、各事業の実績に基づいて予算の過不足を調整するものです。

質疑

徴収費の90万円の嘱託員の徴収報償金を増額した理由は。

答弁

当初予算7千200万円の徴収額だったが、3千万円増額になると見込み、その3%、90万円を補正した。

質疑

繰越明許は3月に出ることが多いが、斎場の周辺の道路について、なぜ、この時期に

補正予算が出てきたのか。工事が予定より遅れる理由は。

答弁

斎場工事が5月末までで、その間、工事車両が通る。特に幹線道路は、舗装や区画線等が汚れるので、斎場の工事が終わった後に舗装の工事を完了したい。今回、工事を遅らせ繰越明許をお願いして、工期を年度をまたいで設定したい。

■一般会計補正予算(追加)

補正額 5千655万4千円
総額 234億9千80万6千円

主なものは、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業委託料などです。

質疑

ワクチン接種の助成で、子宮頸がん、ヒブワクチン、肺炎球菌、それぞれ何人が対象に想定されているのか。実際の接種費用は。

答弁

子宮頸がんは、高校1年生16歳380人、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンは合わ

せて2千420人を考えている。八開診療所では、子宮頸がん1万5千円、ヒブ7千500円、肺炎球菌1万円。他の一般の医療機関も、この程度だろうと思われる。補助額との差額を窓口で支払う。

■国民健康保険特別会計 補正予算

事業勘定
補正額 1億180万円
総額 71億1千223万4千円

■介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定
補正額 △9万5千円
総額 35億4千588万6千円

サービス事業勘定

補正額 85万3千円
総額 4千138万5千円

■公共下水道事業特別会計補正予算

補正額 5千万円
総額 11億3千920万1千円

質疑

下水道事業の分担金、負担金が、大幅に増額補正となっている理由は。また、納入状況と市の対応は。

答弁

公共下水道供用開始の近隣市町に収納状況を聞き、平成22年度の予算を計上した。予想以上に前納者、第1期分の未納者が少なく増額の補正になった。

22年度の課税対象約2億9千万円のうち収納額は、10月末で約1億4千万円。未納者全件を訪問し、分担金、負担金の説明、公共下水道事業の必要性を説明し、納付を依頼した。会えなかった方には手紙を投函した。

■水道事業会計補正予算

収益的収入

補正額 91万円
総額 4億4千63万8千円

